3-068-177-**01** (1)

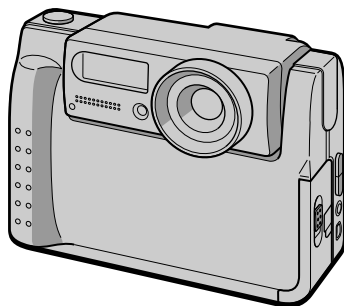
デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DSC-F55DX

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

画像の互換性について

- 本機は、電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“ Design rule for Camera File system ”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700、DSC-D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、“ メモリースティック ”が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面およびレンズについて

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときにはご注意ください。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。結露が起きたときは、55ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

日光および強い光に向けて本機を使用しないでください！

目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。

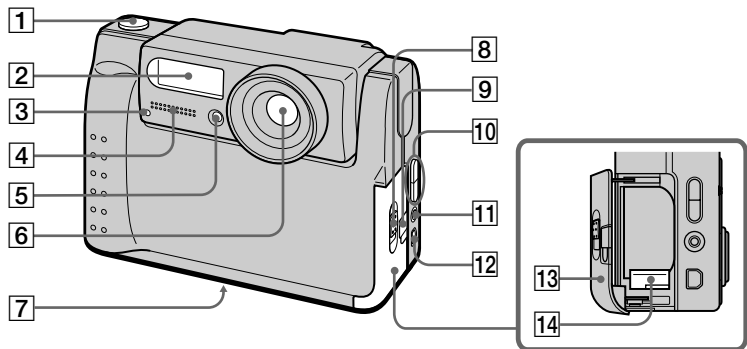
カール ツァイスレンズ搭載

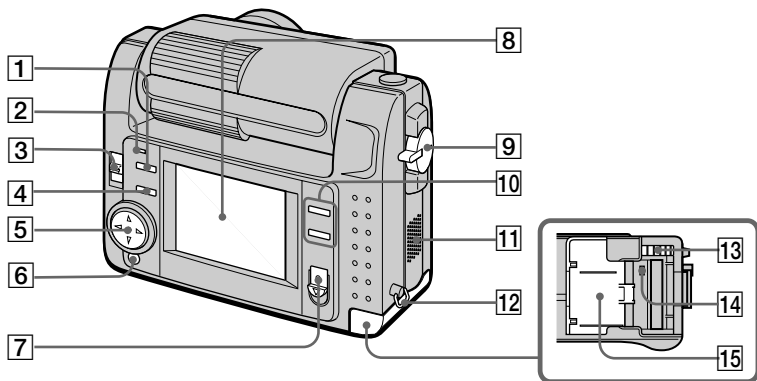
本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。コントラストの再現性を表す指標です。

目次

各部のなまえを確認する

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

1. **シャッターボタン**（13、17）
2. **フラッシュ**（16）
3. **セルフタイマー／録画ランプ**
4. **内蔵マイク**
   撮影時触れないようにする。
5. **調光窓**
   撮影時にふさがないようにする。
6. **レンズ**
7. **三脚用ネジ穴（底面）**
   ネジの長さが6.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。
8. OPEN（オープン）（BATT（バッテリー））**つまみ**
9. AC（エーシー）**パワーアダプター／チャージャーコードカバー**（9）
10. VOLUME（ボリューム）+/–、PROGRAM（プログラム） AE ADJ（エーイーアジャスト）**ボタン**
11. A/V OUT（エーブイ アウト）**端子**（49）
    オーディオ出力はモノラルになります。
12. DIGITAL I/O（デジタルアイオー）（USB（ユーエスビー））**端子**（22、24）
13. **バッテリーカバー**
14. **バッテリー取りはずしつまみ**（8）

レンズキャップ（付属）とリストストラップ（付属）を取り付ける

1 ⚡（フラッシュ）ボタン

2 **フラッシュランプ**

エルシーディーバックライト
3 LCD BACK LIGHT**スイッチ**
通常は「ON」にして使用します。
屋外など、明るい場所で使うときに「OFF」にすると、バッテリーを長持ちさせることができます。

プログラム　エーイー
4 PROGRAM AE**ボタン**（42）

5 **コントロールボタン**

ディスプレイ
6 DISPLAY**ボタン**

パワー
7 POWER**スイッチ**
パワー
POWER**ランプ**

8 **液晶画面**

モード
9 MODE**スイッチ**（30）

10 T **（デジタルズーム）ボタン**
W **（デジタルズーム）ボタン**

11 **スピーカー**

12 **リストストラップ取付部**

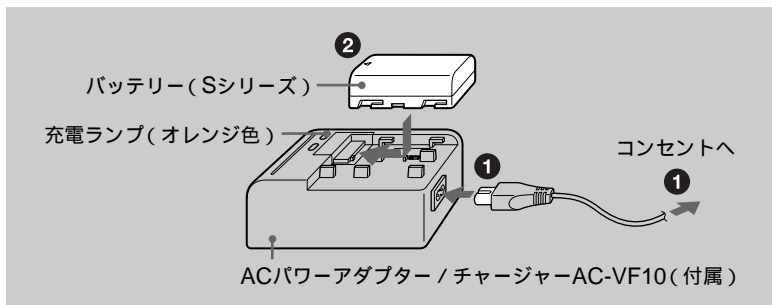
13 **“メモリースティック”取り出しボタン**

14 **アクセスランプ**（12）

15 **“メモリースティック”カバー**

電源を準備する

バッテリーを充電する

本機の電源には“ インフォリチウム ”バッテリー*NP-FS11（Sシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

❶ **コンセントにつなぐ。**

❷ **バッテリーを押しながら矢印の方向にずらして取り付ける。**

充電が始まると、充電ランプが点灯します。
充電が終わると、充電ランプが消えます（**実用充電**）。
そのまま約1時間充電を続けると、若干長くバッテリーを使うことができます（**満充電**）。

バッテリーを取りはずす

バッテリーを矢印の逆方向にずらす。

* **InfoLITHIUM S（“ インフォリチウム ”）バッテリーとは**

InfoLITHIUM S（“ インフォリチウム ”）に対応している機器とバッテリーの使用状況に関するデータ通信を行うことができるバッテリーです。本機はInfoLITHIUM S（“ インフォリチウム ”）対応です。“ InfoLITHIUM（インフォリチウム）”はソニー株式会社の商標です。

充電時間

バッテリー	満充電時間	実用充電時間
NP-FS11（付属）	約170分	約110分

使い切ったバッテリーをACパワーアダプター／チャージャーAC-VF10で充電したときの時間です。

バッテリーの使用時間と撮影／再生可能枚数

静止画を撮影*するとき

LCD BACK LIGHT	使用時間	撮影枚数
ON	約70分（65分）	約1300枚（1200枚）
OFF	約85分（75分）	約1600枚（1400枚）

静止画を再生**するとき

LCD BACK LIGHT	使用時間	再生枚数
ON	約110分（100分）	約2200枚（2000枚）
OFF	約145分（130分）	約2900枚（2600枚）

温度25℃で満充電して使用したときの場合。（　）内は実用充電の場合。
画像サイズが640×480、撮影モードが通常撮影の場合。
* 約4秒ごとに連続撮影
** 約3秒ごとにシングル画面を順番に再生

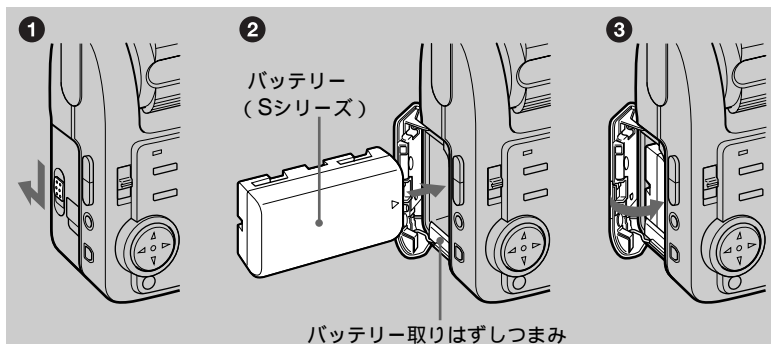
動画を撮影するとき

LCD BACK LIGHT	連続撮影時
ON	約75分（65分）
OFF	約85分（75分）

温度25℃で満充電して使用したときの場合。（　）内は実用充電の場合。
画像サイズが160×112の場合。

ご注意

- 低温時、フラッシュ使用時、電源の入／切を繰り返したときは、使用時間と撮影／再生枚数は少なくなります。
- “メモリースティック”の容量は限られています。上記の時間と枚数は“メモリースティック”を交換しながら連続撮影／再生したときの目安です。
- バッテリー残量表示時間が充分なのに電源がすぐ切れるときは満充電すると正しく表示されます。
- バッテリーは水に濡らさないでください。

バッテリーを本体に入れる

❶ **バッテリーカバーを開ける。**

OPENつまみを矢印の方向に引きながら開けます。

❷ **バッテリーを入れる。**

バッテリー取りはずしつまみを下側にずらして、バッテリーの▲マークを奥にして入れます。

❸ **バッテリーカバーを閉める。**

バッテリーを取り出す

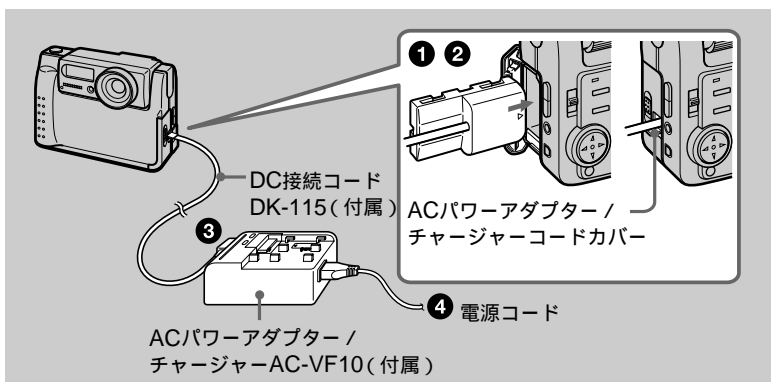
バッテリーカバーを開け、バッテリー取りはずしつまみをずらして取り出してください。
取り出すときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。

バッテリー残量時間表示

撮影／再生できる残り時間を液晶画面に表示します。
使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。

オートパワーオフ機能

撮影中に本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。そのまま使いたいときは、POWERスイッチをずらして電源を入れ直してください。

外部電源を使用する

❶ **バッテリーカバーを開ける。**

❷ **DC接続コード（DK-115）の一方を本体に入れ、カバーを閉める。**

上の図のようにコードカバーを開き、コードをはさまないようにしてカバーを閉めます。

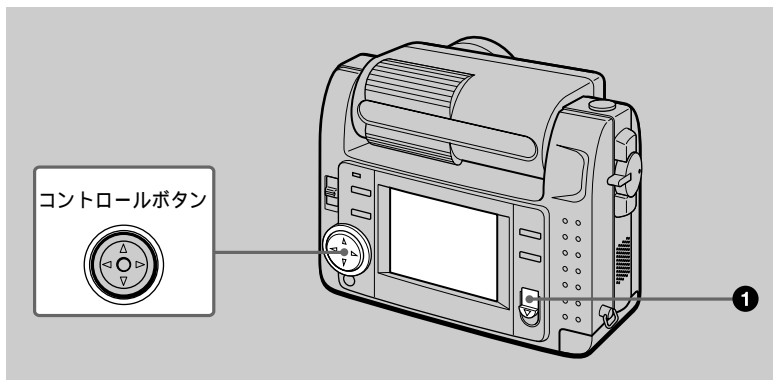
❸ **DC接続コードのもう一方をACパワーアダプター／チャージャーにつなぐ。**

❹ **電源コードの一方をACパワーアダプター／チャージャーに、もう一方をコンセントにつなぐ。**

自動車電源は

別売りDCアダプター／チャージャーでご使用いただけます。

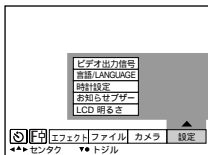
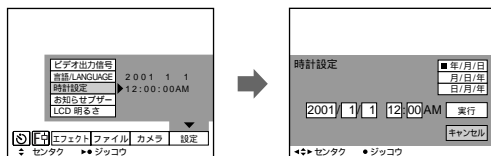
日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れ、撮影状態にするたびに日付設定画面が表示されます。

1 POWER**スイッチを下にずらして、電源を入れる。**

POWERランプが点灯します。

2 コントロールボタンの▲を押す。

メニューバーが表示されます。

3 コントロールボタンの▶で［設定］を選び、中央の●を押す。

❹ コントロールボタンの▲/▼で［時計設定］を選び、中央の●を押す。

❺ コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、中央の●を押す。

［年/月/日］、［月/日/年］、［日/月/年］の中から選びます。

❻ コントロールボタンの◀/▶で設定する年、月、日、時、分の項目を選ぶ。

設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。

❼ コントロールボタンの▲/▼で数値を設定して、中央の●を押す。

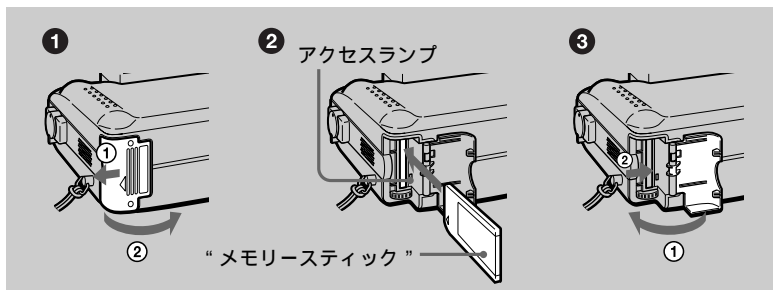
数値が確定され、次の項目に移ります。
手順❺で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。

❽ コントロールボタンの▶で［実行］を選び、時報と同時に中央の●を押す。

日付・時刻が設定されます。

中止するには

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

“ メモリースティック ”を入れる

❶ **“ メモリースティック ”カバーを開ける。**

矢印の方向にずらして開けます。

❷ **“ メモリースティック ”を入れる。**

“ メモリースティック ”の▲マークを奥にして差し込む。

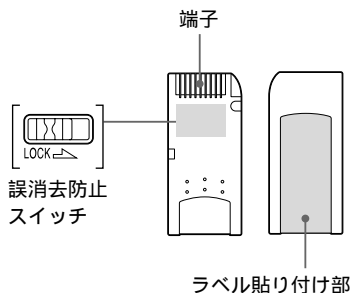
❸ **“ メモリースティック ”カバーを閉める。**

“ メモリースティック ”を取り出す

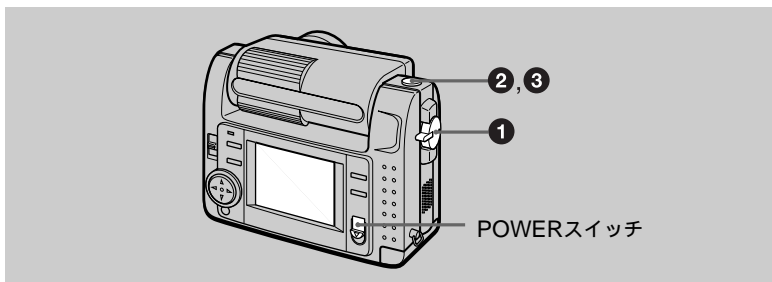
“ メモリースティック ”カバーを開け、“ メモリースティック ”取り出しボタンを押して取り出してください。

ご注意

- “ メモリースティック ”を入れるときは、奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まれないと「メモリースティックエラー」等が表示されます。
- アクセスランプが点灯しているときは、絶対に“ メモリースティック ”を取り出したり、電源を切ったりしないでください。

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や画像編集ができません。

モデルによっては、誤消去防止スイッチの位置や形状が異なる場合があります。

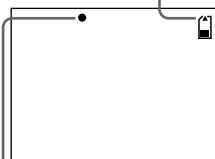
静止画を撮る

静止画をJPEG（ジェイペグ）形式で撮影します。
POWERスイッチで電源を入れ、" メモリースティック "を入れておきます。

❶ **MODEスイッチを「STILL」にする。**

❷ **シャッターを軽く押し、そのまま画像を確認する。**

" メモリースティック "残量表示

AEロック表示

●AEロック表示（緑）が点滅し、液晶画面の画像は止まります。
このときはまだ撮影されていません。
本機の自動調整*が終わると、●AEロック表示が点滅から点灯に変わります。
●AEロック表示が点灯すると、撮影可能になります。
撮影を中止するときはシャッターから指を離します。

❸ **シャッターを押し込む。**

カシャッと音がして、画像が" メモリースティック "に書き込まれます。
「記録中」の表示が消えたら、次の撮影ができます。

* 露出、フォーカスを自動調整します。

" メモリースティック "1枚に記録できる枚数は

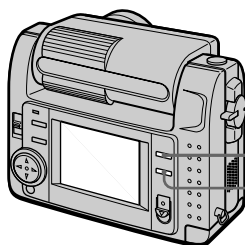
38〜41ページをご覧ください。

ご注意

- " メモリースティック "に書き込み中は本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、" メモリースティック "やバッテリーを取り出したりしないでください。
- 被写体が明るいとき、AEロック後に液晶画面の色合いが変わることがありますが、記録された画像は正常です。

最後に撮影した画像を確かめる（クイックレビュー）

メニューバーを消し（31ページ）コントロールボタンの◀を押すと、最後に撮影された画像が表示されます。シャッターボタンを軽く押すか、コントロールボタンの◀/▶で［戻る］を選び、中央の●を押すと、通常の撮影モードに戻ります。
また、コントロールボタンの◀/▶でレビュー画面上の［削除］を選んで、中央の●を押してからコントロールボタンの▲/▼で［実行］を選び中央の●を押すと、削除することができます。

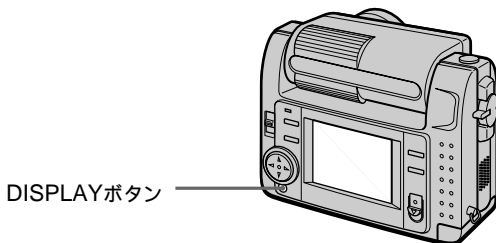
デジタルズームを使う

Tボタン（望遠）：被写体が大きくなる
Wボタン（広角）：被写体が小さくなる

本機はデジタルズーム機能を搭載しています。
デジタルズームは、画像をデジタル処理して拡大します。Tボタンを押すと画像が拡大され、Wボタンを押すと元の大きさに戻ります。

ご注意

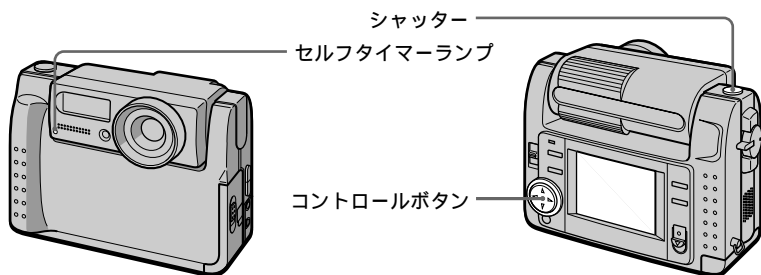
- デジタルズームの最大倍率は5倍になります。
- 液晶画面に表示される画像は、"メモリースティック"に記録される画像よりも粗く表示されます。
- デジタルズームは動画撮影には使えません。

撮影中の画面表示

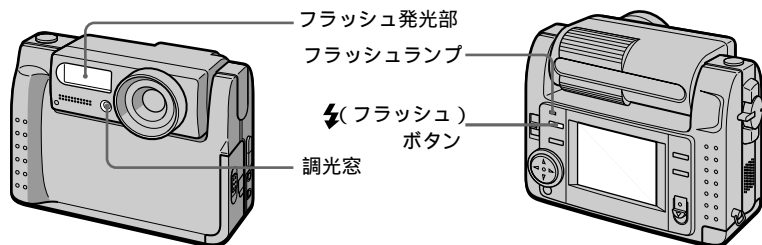
DISPLAYボタンを押して、出したり消したりできます。
表示される項目については65ページをご覧ください。

ご注意

- セルフタイマー表示と、一部の応用操作の表示は消すことができません。
- 画面表示は記録されません。

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーを使用すると、10秒後に撮影が始まります。

コントロールボタンの◀/▶/▲/▼で画面上の（セルフタイマー）を選び、中央の●を押します。画面に（セルフタイマー）が表示され、シャッターを押してから10秒後に撮影されます。その間、セルフタイマーランプが点滅します。

フラッシュを使って撮影する

お買い上げ時は「AUTO」（表示なし）に設定されており、周囲が暗くなると自動的に発光します。「AUTO」以外に設定するときは、⚡（フラッシュ）ボタンを繰り返し押し、希望のフラッシュ表示を出します。

ボタンを押すたびに、以下のように表示が変わります。

（表示なし）→ ◐ → ⚡ → ⊘ → （表示なし）

◐ AUTO赤目軽減：撮影前に予備発光し、目が赤く写ることを抑制します。

⚡ 強制発光：周囲の明るさに関係なく発光します。

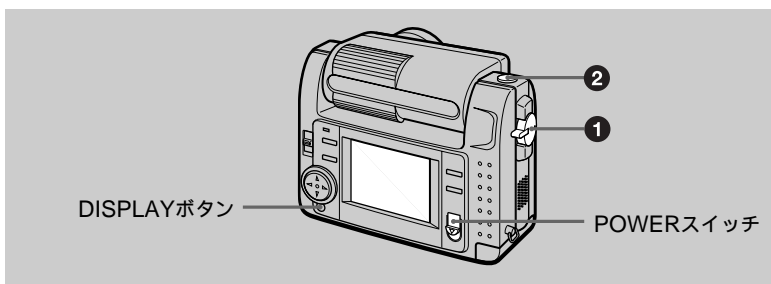
⊘ 発光禁止：発光しません。

発光量はメニューの［フラッシュレベル］で変えることができます（35ページ）。

ご注意

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.3 m～2.5 mです。
- ◐ AUTO赤目軽減では、個人差や被写体までの距離、予備発光を見ていないなどの条件により赤目の軽減効果が現れにくいことがあります。また、プログラムAEのシャッタースピード優先AEモードでシャッタースピードが遅く設定されていると赤目軽減効果は現れにくくなります。
- 明るい場面で強制発光を使うとフラッシュ効果が得られにくいことがあります。

動画を撮る

音声つきの動画をMPEG(エムペグ)形式で撮影します。
POWERスイッチで電源を入れ、“ メモリースティック ”を入れておきます。

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」にする。**

2 シャッターを押し込む。

「録画」と表示され、画像と音声が“ メモリースティック ”に書き込まれます。

ポンと1**回押すと**
5秒間録画します。
この録画時間はメニューの［記録時間］で10秒、15秒に設定できます（34ページ）。

押しつづけると
押しつづけている間、最大60秒まで録画します。
ただし、メニューの［画像サイズ］を320（HQ）、320×240に設定したときは、録画時間は最大15秒までになります（38ページ）。

セルフタイマーなどは

15ページをご覧ください。

撮影中の画面表示

DISPLAYボタンを押して、出したり消したりします。
これらの表示は記録されません。
表示される項目について詳しくは、65ページをご覧ください。

静止画を見る

❶ **MODEスイッチを「PLAY」にする。**

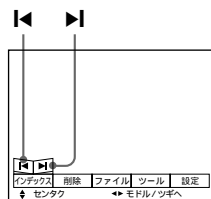
最後に撮影した画像（静止画または動画）が表示されます。

❷ **コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。**

❸ **コントロールボタンで静止画を選ぶ。**

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して、液晶画面に表示されているI◀/▶Iボタンを選び、◀/▶を押します。

I◀：前の画像を見るとき。

▶I：次の画像を見るとき。

メニューバーを表示していないときは

コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶことができます。

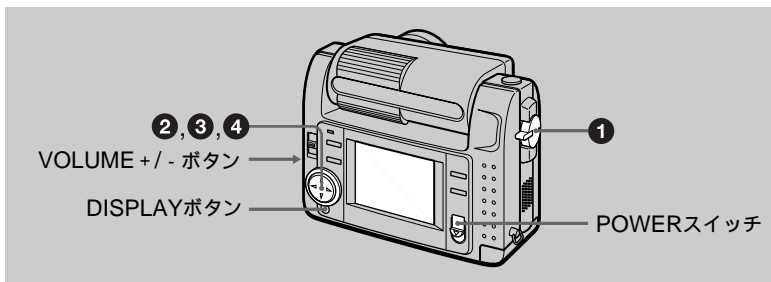
ご注意

- 本機で記録した画像は、本機以外の機器で正しく再生できないことがあります。
- 本機で記録できる最大画像サイズより大きい画像は、本機で再生できないことがあります。

静止画再生中の画面表示

DISPLAYボタンを押して出したり消したりします。

表示される項目について詳しくは、66ページをご覧ください。

動画を見る

1 MODEスイッチを「PLAY」にする。

最後に撮影した画像（静止画または動画）が表示されます。

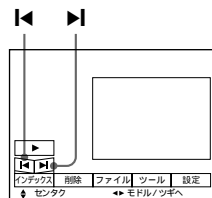
2 コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。

3 コントロールボタンで動画を選ぶ。

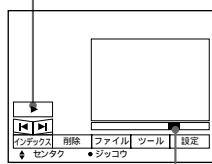
動画は静止画よりもひとまわり小さく表示されます。

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して、液晶画面に表示されているI◀/▶Iボタンを選び、◀/▶を押します。

I◀：前の画像を見るとき。

▶I：次の画像を見るとき。

❹ 液晶画面に表示されている▶（再生スタート）ボタンをコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す。

動画と音声が再生されます。
再生中は▶（再生スタート）ボタンが❚❚（一時停止）ボタンに変わります。

▶（再生スタート）ボタンまたは❚❚（一時停止）ボタン

再生バー

再生を一時停止するには
液晶画面に表示されている❚❚ボタンをコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押します。

メニューバーを表示していないときは
コントロールボタンの◀/▶で画像を選びます。中央の●を押すと、画像と音声が再生されます。再生中に中央の●を押すと、一時停止します。

高画質撮影した動画は
画像サイズ［320（HQ)］で撮影した動画（37ページ）は手順❸、❹で、画面いっぱいに表示されます。

音量を調節する

VOLUME＋/−ボタンを押して調節します。

動画再生中の画面表示

DISPLAYボタンを押して出したり消したりします。
表示される項目について詳しくは、66ページをご覧ください。

接続したパソコンで画像を見る

本機で撮影した画像データを、パソコンに取り込み、パソコンのソフトウェアで加工したり、Eメールに添付したりできます。
ここでは、付属の専用USBケーブルを使用して、パソコンで画像を見る手順について説明します。
パソコンへの画像の取り込み方については、同梱の冊子「サイバーショットで撮った画像をパソコンに取り込んで楽しもう！」でより分かりやすくご紹介しています。そちらも合わせてご覧ください。
対応しているパソコンや接続に関する最新の情報は、下記のウェブサイトでご案内しております。
デジタルイメージングカスタマーサポート
http://www.sony.co.jp/support-di/

ご注意

- 本機で撮影した画像データは以下の形式で保存されています。それぞれのファイル形式に対応したアプリケーションソフトがパソコンにインストールされていることをご確認ください。
  – 静止画（テキストモード、非圧縮モード、クリップモーション以外）：JPEG形式
  – 動画／音声：MPEG形式
  – 非圧縮モードによる静止画：TIFF形式
  – テキストモード、クリップモーション：GIF形式
- Windowsでの動画再生時には、RealPlayerやWindows Media Playerがインストールされていることが必要です。
- Macintoshでの動画再生時には、QuickTime 3.0以降がインストールされていることが必要です。

パソコンの推奨使用環境

推奨Windows環境

OS： Microsoft Windows 98、Windows 98SE、Windows 2000 Professional、Windows Meが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
- 上記のOSでもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

CPU：MMX Pentium 200 MHz以上
USB端子が標準で装備されていることが必要です。

推奨Macintosh環境

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1が工場出荷時にインストールされているMacintosh
ただしMac OS 8.6が工場出荷時にインストールされている“ CD-ROMドライブがスロットローディングのiMac ”、“ iBook ”、“ Power Mac G4 ”はMac OS 9.0/9.1にアップデートしてご使用ください。
USB端子が標準で装備されていることが必要です。

ご注意

- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続をされている場合、同時に使われるUSB機器によっては動作いたしません。
- ハブ経由でご使用の場合は動作保証いたしません。
- 推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。

接続したパソコンで画像を見る（つづき）

USB**ドライバをインストールする**

USBケーブルはUSBドライバのインストールが完了してから接続してください。
先にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが正しくインストールできません。

ドライバをインストールする前にUSBケーブルを接続してしまった場合など、ドライバソフトが正常にインストールできなかった場合の対応については、60ページをご覧ください。
本機をパソコンに接続する前に、お手持ちのパソコンにUSBドライバをインストールします。USBドライバは、本機に付属しているCD-ROMに、画像を見るためのアプリケーションソフトとともに収録されています。

例：Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 **をお使いの場合**

❶ パソコンの電源を入れ、Windows**を起動する。**

まだパソコンと本機を接続しないでください。

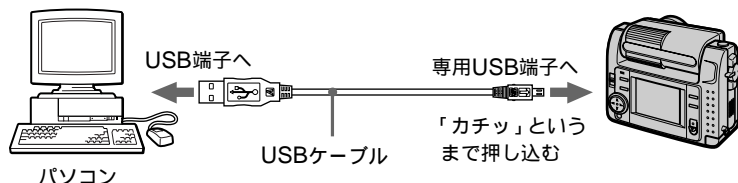
❷ 付属のCD-ROM**を、パソコンの**CD-ROM**ドライブにセットする。**

アプリケーションソフトの画面が起動します。

❸ ［USB Driver Installation for Windows 98/98SE、Windows Me、Windows 2000］**をクリックする。**

USBドライバのインストール画面が起動します。

❹ 画面の指示に従って、USB**ドライバをインストールする。**

❺ 付属の専用USB**ケーブルで、本機の専用**USB**端子とパソコンの**USB**端子を接続する。**

❻ 本機に“ メモリースティック ”を挿入し、AC**パワーアダプター／チャージャーを接続して本機の電源を入れる。**

本機の液晶画面に「PC MODE」と表示され、パソコンからの通信待機状態になります。パソコンが本機を認識し、Windowsのハードウェア追加ウィザードが起動します。

❼ 画面の表示にしたがって、ハードウェアを認識させる。

2種類のUSBドライバをインストールするため、ハードウェア追加ウィザードは2回起動します。途中で中断せずに、最後までインストールを完了してください。

ご注意

- 手順❹が完了するまでは、本機をパソコンに接続しないでください。
- 手順❼では必ず本機に"メモリースティック"を挿入しておいてください。
  挿入していないと、インストールできません。

例：Macintosh**をお使いの場合**

– Mac OS 9.1**をお使いの方**
  USBドライバのインストールは必要ありません。
  本機とMacintoshをUSBケーブルで接続するだけで、Macintoshにドライブとして認識されます。

– Mac OS 8.5.1/8.6/9.0**をお使いの方**
  以下の手順にしたがってドライバをインストールしてください。

❶ パソコンの電源を入れ、Mac OS**を起動する。**

❷ 付属のCD-ROM**を、パソコンの**CD-ROM**ドライブにセットする。**

❸ CD-ROM**ドライブのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。**

❹ OS**の入っているハードディスクのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。**

❺ 手順❸で開いたウィンドウから、以下の2**つのファイルを、手順❹で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動する（ドラッグ・アンド・ドロップする）。**

- Sony USB Driver
- Sony USB Shim

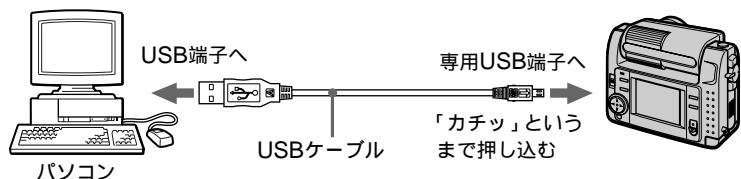
❻「機能拡張フォルダに入れますか？」と表示されたら「はい」を選択する。

❼ パソコンを再起動する。

画像を見る

例：Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 **をお使いの場合**

❶ パソコンの電源を入れ、Windows**を起動する。**

❷ 専用USBケーブルで本機の専用USB端子とパソコンのUSB端子を接続する。

❸ 本機に“メモリースティック”を挿入し、ACパワーアダプター／チャージャーをコンセントに接続する。

❹ 本機の電源を入れる。

本機の液晶画面に「PC MODE」と表示されます。

❺ Windows上で「マイコンピュータ」を開き、新しく認識されたドライブ（例：「リムーバブルディスク（D:)」）をダブルクリックする。

“メモリースティック”内のフォルダが表示されます。

❻ 見たい画像／音声ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。

詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名」（27ページ）をご覧ください。

再生したいファイル	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*
音声*	「Mssony」フォルダ→「Momlv100」フォルダ→音声ファイル*
クリップモーション画像	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
Eメール画像、TIFF（非圧縮）画像	「Mssony」フォルダ→「Imcif100」フォルダ→画像ファイル

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをお勧めします。“メモリースティック”から直接再生すると、画像／音声がとぎれることがあります。

Windows MeやWindows 2000をお使いの方へ

Windows MeやWindows 2000をお使いの場合、パソコンからUSBケーブルを取り外すときや、パソコンを接続した本機から“ メモリースティック ”を取り出すとき、下記の手順で取り外すことをおすすめします。

❶ タスクトレイの中の「ハードウェアの取り外し」アイコンより、該当するドライブを停止する。

❷ 「安全に取り外すことができる」とメッセージが出てから、USBケーブルを抜く、または“ メモリースティック ”を取り出す。

パソコンを使用するときのご注意

“ メモリースティック ”

- パソコンでフォーマットした“ メモリースティック ”を本機に使用した場合や、USB接続時に本機内の“ メモリースティック ”をパソコンからフォーマットした場合は、動作保証いたしません。
- Windowsで“ メモリースティック ”の最適化はしないでください。“ メモリースティック ”の寿命を縮めます。
- “ メモリースティック ”内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で使用できなくなります。

ソフトウェア

- アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
- 付属のレタッチソフト等を使って加工した画像をパソコンから本機に取り込む場合または本機の画像を直接加工した場合、画像形式が異なるためファイルエラー表示が出たりファイルが開けない場合があります。
- アプリケーションソフトによっては、クリップモーション画像の1コマ目しか表示されない場合があります。

パソコンとの通信

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

接続したパソコンで画像を見る（つづき）

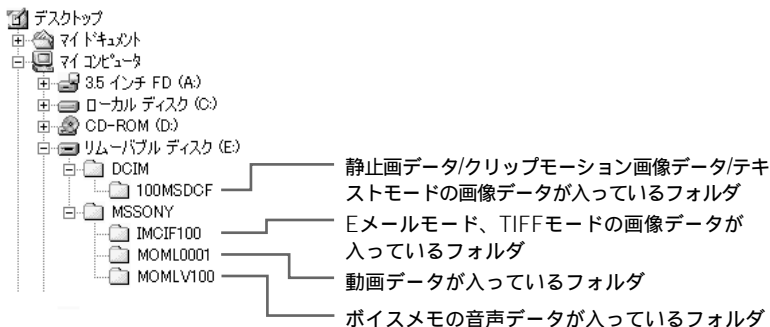
ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合

本機に付属のCD-ROMに収録されている画像処理ソフト使用時、ソフトが強制終了されることがあります。また、MPEGデータを再生すると再生時間が極端に短くなることもあります。その際は下記のホームページで最新ドライバー［Sony MPEG Decoder］を入手してご使用ください。
http://www.vaio.sony.co.jp
アップデートプログラムから［Sony MPEG Decoder］を選び、ダウンロードする。

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacintoshおよびMac OS、QuickTimeは、Apple Computer, Incの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとにフォルダにまとめられています。ファイル名の意味は以下の通りです。□□□□には0001から9999までの数字が入ります。

Windows Me**で見たときの例（本機が認識されたドライブは**E**）**

基本操作 再生

画像ファイルの保存先とファイル名（つづき）

このフォルダの中にある	このファイルは	こういう意味
100msdcf	DSC0□□□□.JPG	• 通常撮影した静止画ファイル • Eメールモードで撮影した静止画ファイル（39ページ） • TIFFモードで撮影した静止画ファイル（41ページ） • ボイスメモモードで撮影した静止画ファイル（40ページ）
	CLP0□□□□.GIF	• ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイル（38ページ）
	CLP0□□□□.THM	• ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイルのインデックス画像ファイル
	MBL0□□□□.GIF	• モバイルモードで撮影したクリップモーションファイル（38ページ）
	MBL0□□□□.THM	• モバイルモードで撮影したクリップモーションファイルのインデックス画像ファイル
	TXT0□□□□.GIF	• テキストモードで撮影した静止画ファイル（40ページ）
	TXT0□□□□.THM	• テキストモードで撮影した静止画ファイルのインデックス画像ファイル
Imcif100	DSC0□□□□.JPG	• Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（39ページ）
	DSC0□□□□.TIF	• TIFFモードで撮影した非圧縮画像ファイル（41ページ）
Moml0001	MOV0□□□□.MPG	• 通常撮影した動画ファイル
Momlv100	DSC0□□□□.MPG	• ボイスメモモードで撮影した音声ファイル（40ページ）

下記のファイルの数字部分は同じになります。

– Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイルとその画像ファイル
– TIFFモードで撮影した非圧縮画像ファイルとその画像ファイル
– ボイスメモモードで撮影した音声ファイルとその画像ファイル
– テキストモードで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル
– クリップモーションで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル

「プレイステーション 2」に画像を取り込む

本機と「プレイステーション 2」をUSBケーブルで接続すると、本機で撮影したJPEGの画像を「プレイステーション 2」に取り込むことができます。この場合、付属の「PictureParadise（ピクチャーパラダイス） Club（クラブ）（体験版）」か、ピクチャーパラダイスに対応した市販の「プレイステーション 2」専用ゲームソフトが必要です。

- 「プレイステーション 2」は、株式会社ソニーコンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- PictureParadise、「ピクチャーパラダイス」PictureParadise は、ソニー株式会社の商標です。

ピクチャーパラダイス

ピクチャーパラダイスとは、ソニー株式会社の提唱する対応機器を「プレイステーション2」に接続し、対応アプリケーションソフトにて画像データなどを取り扱うことのできる規格の名称です。
ドライバーは「PictureParadise Club（体験版）」やゲームソフトに既に入っているので、インストールは不要です。「PictureParadise」に対応したソフトのディスクを「プレイステーション 2」に入れれば、すぐに遊べます。

「プレイステーション 2」につなぐ

つなぐ前に、本機と「プレイステーション 2」の電源が切れていることを確認してください。

1 USBケーブルで本機と「プレイステーション 2」をつなぐ。

2 取り込みたい画像が入った"メモリースティック"を本機に、ゲームソフトのディスクを「プレイステーション 2」に入れる。

3 本機と「プレイステーション 2」の電源を入れる。

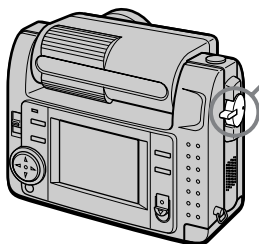
4 ゲームソフトの遊びかたの指示にしたがって本機から画像を取り込んで遊ぶ。

遊びかたはアプリケーションソフトによって異なります。詳しくはアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

応用操作の前に

ここでは、「応用操作」でよく使われるスイッチやボタンの使いかたをまとめて説明します。

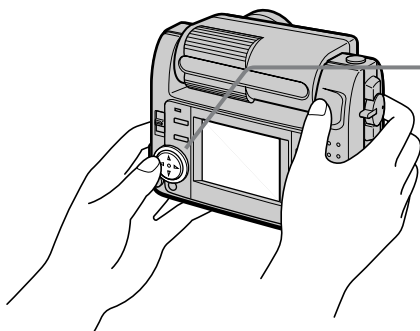
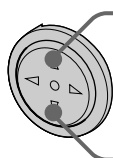
MODEスイッチの使いかた

本機を使って撮影するのか、再生・編集するのかを切り換えるスイッチです。操作を始める前に、あらかじめ以下のように切り換えます。

PLAY：画像を再生・編集するとき

STILL：静止画／ボイスメモを撮影するとき

MOVIE：動画を撮影するとき

コントロールボタンの使いかた

本機はコントロールボタンで画面上の表示や画像、メニューを選び操作します。ここでは応用操作編でよく使われる操作方法を説明します。

画面上の操作ボタン（メニューバー）を表示／消去する

▲を押すと、画面上にメニューバーを表示する。

▼を押すと、画面上のメニューバーが消える。

ご注意

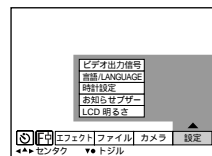
インデックス画面表示（46ページ）のとき、メニューバーを消すことはできません。

画面上の項目や画像を選択する

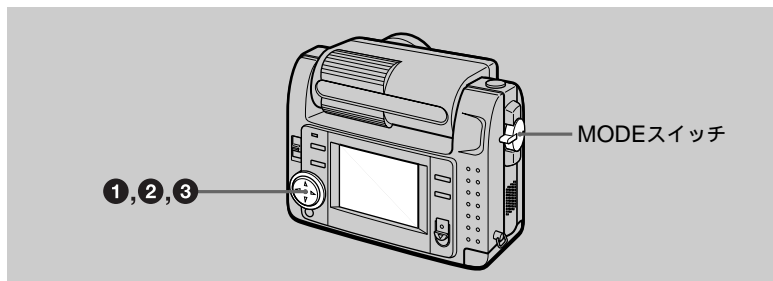
❶ **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押し、設定したい項目や表示したい画像を選ぶ。**

選ばれた項目や画像の枠は青色から黄色に変わります。

❷ **コントロールボタンの中央の●を押して、決定（実行）する。**

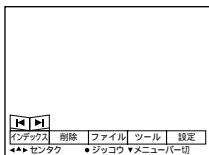
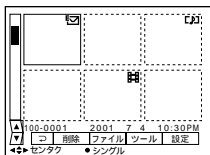
❶と❷を繰り返して各機能を操作します。

この取扱説明書の応用操作編では、上記の手順で項目を選び、実行することを「[(項目名)] を選択する」と表記しています。

メニューでの設定の変えかた

本機の応用操作の一部は、画面上に表示されるメニュー項目をコントロールボタンで選択して操作します。

1 コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。

メニューバーはMODEスイッチの設定によって、下記のように変わります。

「MOVIE」または「STILL」のとき

「PLAY」（シングル画面表示）のとき

「PLAY」（インデックス画面表示）のとき

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選択したい項目を選び、中央の●を押す。

各項目は、選択されると青色から黄色に変わり、コントロールボタンの中央の●を押すと、設定できる項目が表示されます。

3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で希望の設定項目を選び、中央の●を押す。

中止するには

コントロールボタンの▼を手順1のメニューバー表示画面に戻るまで押します。メニューバーを消したいときは、もう一度押します。

設定項目の説明

MODEスイッチの位置によって操作できる項目は変わります。画面には、使える項目のみが表示されます。■印はお買い上げ時の設定です。

(セルフタイマー)

セルフタイマー撮影をする（15ページ）。

(マクロ/フォーカス)

マクロ撮影をする（41ページ）。
被写体までの距離を設定する（42ページ）。

エフェクト

項目	設定	意味	MODEスイッチ
ピクチャーエフェクト	ソラリ モノトーン セピア ネガアート ■ 切	画像の特殊効果を設定する。（45ページ）	「MOVIE」 「STILL」
日付／時刻	日時分 年月日 ■ 切	画像に日付や時刻を挿入するかどうか設定する（45ページ）。	「STILL」

ファイル

項目	設定	意味	MODEスイッチ
フォーマット	実行 キャンセル	"メモリースティック"を初期化（フォーマット）する。初期化すると、プロテクトしてある画像もふくめて、"メモリースティック"に記録されている全ての情報が消去されます。ご注意ください。 中止する。	「MOVIE」 「STILL」 「PLAY」
ファイル番号	連番 ■ 標準	"メモリースティック"を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。 "メモリースティック"ごとにファイル番号を0001から付ける。	「MOVIE」 「STILL」
クリップモーション	160×120（ノーマル） 80×72（モバイル） キャンセル	GIF形式のアニメーション作成用の画像サイズとコマ数を設定する。（38ページ） 10コマまで撮影可能。 2コマまで撮影可能。 中止する。	「STILL」

応用操作の前に

ファイル

項目	設定	意味	MODEスイッチ
画像サイズ	2240×1680 ■ 1856×1392 1856（3:2） 1280×960 640×480	静止画撮影時に画像のサイズを選ぶ。	「STILL」
	320（HQ） 320×240 ■ 160×112	動画撮影時にMPEG画像のサイズを選ぶ。	「MOVIE」
撮影モード	TIFF テキスト ボイスメモ Eメール ■ 通常撮影	JPEGファイルと別に、TIFF（非圧縮）ファイルを記録する。 画像をGIFファイルで白黒撮影する。 JPEGファイルと別に、音声ファイル（静止画付き）を記録する。 設定されている画像サイズと別に小サイズ（320×240）のJPEGファイルを記録する。 通常の撮影をする。	「STILL」
記録時間	15秒 10秒 ■ 5秒	動画撮影時の記録時間を選ぶ。	「MOVIE」
回転（シングル画面のみ）	–	静止画像を右回り、左回りに回転する。	「PLAY」
スライドショー（シングル画面のみ）	間隔設定 繰り返し スタート キャンセル	スライドショーの間隔を設定する。 ■3秒／5秒／10秒／30秒／1分 スライドショーを繰り返す。 ■入／切 スライドショーを実行する。 スライドショーの設定および実行を中止する。	「PLAY」
プリントマーク	入 ■ 切	プリントしたい静止画像を選ぶ（54ページ）。 静止画のプリントマークをとる。	「PLAY」
プロテクト	入 ■ 切	画像に誤消去防止指定をする（50ページ）。 誤消去防止指定を解除する。	「PLAY」

カメラ

項目	設定	意味	MODEスイッチ
シャープネス	+2〜−2	画像のシャープネスを調節する。 [0]に設定したときを除いて画面に[アイコン]が出る。	「STILL」
ホワイトバランス	屋内 屋外 ホールド ■ オート	ホワイトバランスを設定する（44ページ）。	「MOVIE」 「STILL」
フラッシュレベル	明 ■ 標準 暗	フラッシュの発光量を通常より多くする。 通常の設定。 フラッシュの発光量を通常より少なくする。	「STILL」
EV補正	+2.0EV〜−2.0EV	画像の明るさを調節する。	「MOVIE」 「STILL」

ツール

項目	設定	意味	MODEスイッチ
コピー	実行 キャンセル	画像をコピーする（52ページ）。 中止する。	「PLAY」
リサイズ（シングル画面のみ）	2240×1680 1856×1392 1280×960 640×480 キャンセル	撮影した静止画の画像サイズを変える（52ページ）。	「PLAY」

設定

項目	設定	意味	MODEスイッチ
デモモード	■ 入／スタンバイ 切	外部電源使用時のみ表示される項目。メニューで[入]を選び、MODEスイッチを「MOVIE」または「STILL」にしたまま約10分放置すると、デモンストレーションが始まる。電源を切ると終了する。もう1度始めるには、メニューで[入]を選ぶ。	「MOVIE」 「STILL」
ビデオ出力信号	■ NTSC PAL	ビデオ出力信号をNTSCモードに設定する（北米、日本など）。 ビデオ出力信号をPALモードに設定する（欧州など）。	「MOVIE」 「STILL」 「PLAY」
言語/LANGUAGE	ENGLISH ■ 日本語／JPN	メニュー項目を英語で表示する。 メニュー項目を日本語で表示する。	「MOVIE」 「STILL」 「PLAY」
時計設定		時計を合わせる（10ページ）。	「MOVIE」 「STILL」 「PLAY」
お知らせブザー	シャッター ■ 入 切	シャッターボタンを押したとき、シャッター音が鳴る。 コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザー／シャッター音が鳴る。 音は鳴らない。	「MOVIE」 「STILL」 「PLAY」
LCD明るさ	▮▮▮▮▮▮▪▪▪▪▪	画面上の＋/－ボタンで液晶画面の明るさを調節する。記録される画像に影響はない。	「MOVIE」 「STILL」 「PLAY」

インデックス*

インデックス画面表示にする（46ページ）。

削除

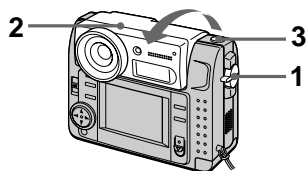
設定	意味	MODEスイッチ
実行	表示中の画像を削除する。	「PLAY」
キャンセル	削除を中止する。	

⮐（戻る）**

シングル画面表示に戻る。

* シングル画面のときのみ表示されます。
** インデックス画面のときのみ表示されます。

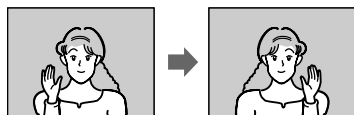
液晶画面を回転させて撮る – 対面撮影

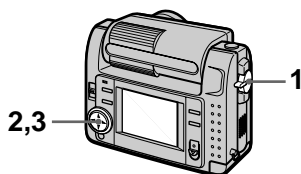
レンズと向き合って撮影できます。

1 MODE**スイッチを**「MOVIE」**または**「STILL」**にする。**

2 レンズ部の角度を調節する。

対面撮影のときは、レンズ部を180度回転させます。

3 撮影する。

液晶画面に映る画像は鏡のように映りますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

液晶画面に映る画像　**記録される画像**

画像サイズを設定する

1 MODE**スイッチを**「MOVIE」**または**「STILL」**にする。**

2 メニューから［ファイル］→［画像サイズ］の順に選択する。

3 画像サイズを選択する。

静止画の場合

2240×1680、1856×1392、1856（3:2*）、1280×960、640×480

* プリント紙のサイズ比3:2に合うように画像を3:2で記録します。

動画の場合

320（HQ*）、320×240、160×112

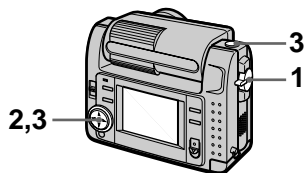
* High Quality（高画質）モード

“ メモリースティック ”(8MB)(付属)1枚に記録できる枚数、時間は

画像サイズ	枚数または時間*
2240×1680	約4枚
1856×1392	約6枚
1856 (3:2)	約6枚
1280×960	約12枚
640×480	約118枚
320 (HQ)	約20(15**)秒
320×240	約80(15**)秒
160×112	約320(60**)秒

* 撮影モードが[通常撮影]の場合
**( )内は、連続撮影時最大記録時間

クリップモーションを作成する

クリップモーションは静止画像が連続再生されるアニメーション機能す。本機では約0.5秒間隔で再生されます。保存形式はGIF形式で、ホームページ作成やEメール添付に便利です。

1 MODE**スイッチを「**STILL**」にする。**

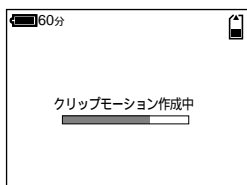
2 メニューから［ファイル］→［クリップモーション］の順に選択する。

3 希望のモードを選択する。

160×120(**ノーマル**)
最大10コマのクリップモーションを撮影できます。
ホームページなどでのご利用に適しています。

80×72(**モバイル**)
最大2コマのクリップモーションを撮影できます。
携帯端末などでのご利用に適しています。

キャンセル
クリップモーションの作成を中止します。

4 一コマ目の撮影をする。

5 次のコマを撮影する。

撮影可能最大枚数まで繰り返し撮影できます。
［終了］を選択するか、最大枚数を撮り終えると自動的に記録されます。

クリップモーション作成をやめるには

手順**3**のあとで［戻る］を選択します。
1コマでも撮影すると、クリップモーションの作成をやめることはできません。

"メモリースティック"(8MB)(付属)1枚に記録できるクリップモーションの枚数は

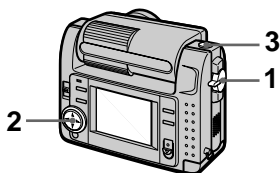
画像サイズ	枚数
160×120(ノーマル)	約40*枚
80×72(モバイル)	約350枚

* 10コマ撮影した場合

ご注意

- データの書き込み／読み出しに、通常撮影よりも時間がかかります。
- クリップモーション画像は、GIF形式の制限により、256色以下の色数に減色されています。従って画像によっては画質が落ちる場合があります。
- モバイルモードでは、ファイルサイズを小さく抑えているため画質が落ちます。
- 本機以外で作成したGIFファイルは正しく表示されない場合があります。

Eメールに適した静止画を撮影する – Eメール

静止画と同時に小サイズ（320×240）の画像を記録します。小サイズ画像はEメール添付時に便利です。

1 MODEスイッチを「STILL」にする。

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［Eメール］の順に選択する。

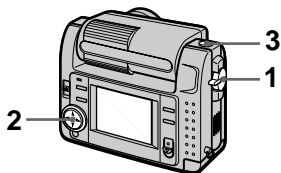
3 撮影する。

Eメールモード時、"メモリースティック"(8MB)(付属)1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	枚数
2240×1680	約4枚
1856×1392	約5枚
1856（3:2）	約5枚
1280×960	約12枚
640×480	約95枚

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

静止画に音声ファイルをつける – ボイスメモ

1 MODEスイッチを「STILL」にする。

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［ボイスメモ］の順に選択する。

3 撮影する。

シャッターをポンと1回押すと
5秒間音声が記録されます。
シャッターを押し続けると
押し続けている間、最長40秒間音声が記録されます。

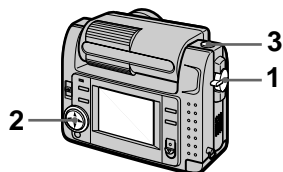
ボイスメモ撮影時、"メモリースティック"(8MB)(付属)1枚に記録できる枚数は(音声記録5秒の場合)

画像サイズ	枚数
2240×1680	約4枚
1856×1392	約5枚
1856 (3:2)	約5枚
1280×960	約11枚
640×480	約56枚

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

書類などの文字を撮る – テキストモード

文字がはっきり映るようにGIF形式でモノクロ記録します。

1 MODEスイッチを「STILL」にする。

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［テキスト］の順に選択する。

3 撮影する。

テキストモード時、"メモリースティック"(8MB)(付属)1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	枚数
2240×1680	約12〜88枚
1856×1392	約18〜121枚
1856 (3:2)	約20〜121枚
1280×960	約36〜162枚
640×480	約121〜323枚

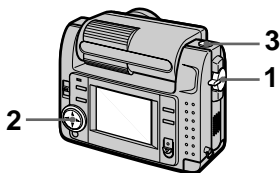
通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

ご注意

- 被写体に均等に光があたっていないと、うまく撮影できないことがあります。
- データの書き込み／読み出しに通常撮影よりも時間がかかります。

非圧縮画像を撮る
– TIFFモード

静止画をTIFF形式（非圧縮）とJPEG形式（圧縮）で同時に記録します。

1 MODE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［**TIFF**］の順に選択する。**

3 **撮影する。**

TIFFモード時、"メモリースティック"（16MB）1枚に記録できる枚数は

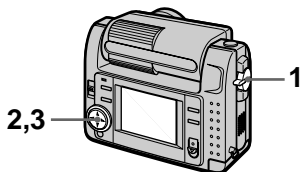
画像サイズ	枚数
1856×1392	約1枚
1856（3:2）	約1枚

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

ご注意

- JPEG画像は、37ページで選ばれている画像サイズで記録されます。TIFF画像は[1856(3:2)]を選んでいるとき以外は[1856×1392]で記録されます。
- データの書き込みに通常撮影よりも時間がかかります。
- 付属の"メモリースティック"（8MB）では容量不足のため記録できないサイズがあります。

被写体に接近して撮る
– マクロ撮影

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

2 **メニューから「**F⊕**」（マクロ/フォーカス）を選択する。**

3 **コントロールボタンの●を繰り返し押して、✿（オートマクロ）を選ぶ。**

約10 cmまでの接写ができます。

通常の撮影モードに戻すには

コントロールボタンの●を繰り返し押して、✿を消します。

ご注意

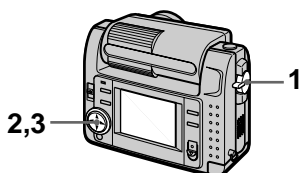
- 次のプログラムAEのモードのときは、マクロ撮影ができません。
  －風景モード
  －パンフォーカスモード
- ✿表示が出たときは、マクロ撮影できません。

被写体までの距離を設定する

通常は、自動的にピントの調整が行われています。暗い所で自動ピント調整が効きにくいときなどにこの機能を使うと便利です。

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

2 メニューから「F⊡」(マクロ/フォーカス)を選択する。

3 コントロールボタンの●を繰り返し押して、ピントを合わせる。

手動ピント合わせ表示Fが表示されます。

ピントは次の7段階から選べます。

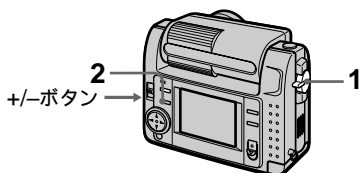
オート(表示なし)、✿(オートマクロ)、0.5m、1.0m、3.0m、7.0m、∞(無限遠)

自動調節に戻すには

手順**3**で「オート」を選択します。

ご注意

- 次のプログラムAEのモードのときは、被写体までの距離を設定できません。
  −パンフォーカスモード
- 設定できる距離は多少の誤差を含みます。目安としてお使いください。

目的に合わせて撮る
– プログラムAE

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

2 PROGRAM AE**ボタンを繰り返し押して、希望のモードを選択する。**

AE_A アイリス(絞り)優先AE**モード**

意図的に、背景をぼかして被写体を際立たせたり、被写体と背景を際立たせたりすることができます。

+/–ボタンを繰り返し押して、F2.8からF8まで7段階の中からアイリス値を選びます。

AE_S シャッタースピード優先AE**モード**

意図的に、動きのある被写体の一瞬の動きや被写体の流動感を撮影することができます。

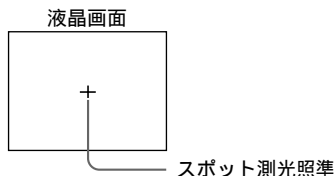
+/–ボタンを繰り返し押して、静止画撮影時は8”から1/1000まで19段階の中から、動画撮影時は1/8から1/1000まで13段階の中からシャッタースピードを選びます。

夜景モード
暗い場所での明るい被写体の色とびをおさえ、暗い雰囲気を損なわずに撮影することができます。

夜景プラスモード
夜景モードの機能をさらに効果的に使用することができます。

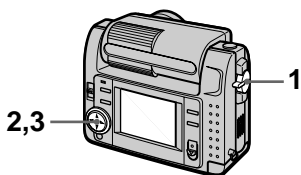
風景モード
遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

パンフォーカスモード
気軽に近くの被写体から遠くの被写体にピントを合わせることができます。

スポット測光モード
逆光のときや被写体と背景とのコントラストが強いときに選びます。撮りたいポイントをスポット測光照準にあわせて撮ります。

プログラムAEを解除するには
PROGRAM AEボタンを繰り返し押して、画面上のプログラムAE表示を消します。

ご注意
- 風景モードでは遠景のみにピントが合うようにオートフォーカスをコントロールしています。
- パンフォーカスモードでは、ズーム位置やフォーカスを固定しています。
- 夜景プラスモードで撮影するときは、手ぶれを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
- 次のモードでフラッシュを使うときは、強制発光にしてください。
  －夜景モード
  －夜景プラスモード
  －風景モード
- テキストモードで撮影するとき、プログラムAEは選べません。
- アイリス優先モード、シャッタースピード優先モードで設定が適正でないと、シャッターボタンを押したときに液晶画面上の設定値表示が点滅します。このときは再度設定し直してください。
- シャッタースピード優先モードでシャッタースピードが遅く設定されていたり、夜景プラスモードでは、ノイズがでることがあります。

明るさを補正する

– EV補正

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

2 **メニューから［カメラ］→［**EV**補正］の順に選択する。**

3 **明るさを選択する。**

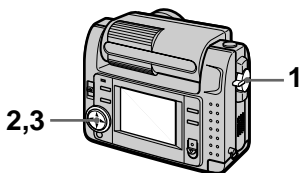
背景の映像の明るさを確認しながら調節してください。
1/3EVごとに＋2.0EVから
－2.0EVまで変えられます。

ご注意

被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ使用時は設定した補正が効かないことがあります。

自然な色合いに調節する

– ホワイトバランス

通常は、自動的にホワイトバランスの調節が行われています。

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

2 **メニューから［カメラ］→［ホワイトバランス］の順に選択する。**

3 **ホワイトバランスの設定を選択する。**

屋内（☼**）**
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下
- ナトリウムランプ、水銀灯の下

屋外（☀**）**
夜景やネオン、花火や日の出、日没などを撮るとき

ホールド（HOLD**）**
単一色の被写体や背景を撮るとき

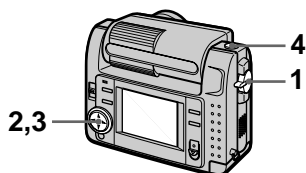
オート（表示なし）
ホワイトバランスを自動調節する

自動調節に戻すには

手順**3**で［オート］を選択します。

ご注意

蛍光灯の下で撮影するときは［オート］を選択します。

静止画像に日付や時刻を入れる – 日付／時刻

1 MODE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［エフェクト］→［日付／時刻］の順に選択する。

3 日付・時刻の設定を選択する。

日時分

画像に日時分を挿入する。

年月日

画像に年月日を挿入する。

切

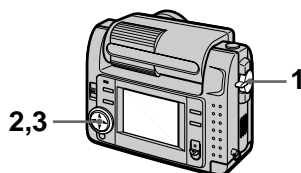
画像に日付・時刻を挿入しない。

4 撮影する。

撮影時は日付や時刻は表示されません。再生時に表示されます。

ご注意

手順**3**で［年月日］を選んだ場合、「日付・時刻を合わせる」（10ページ）で選んだ表示順の年月日が、挿入されます。

画像に特殊効果を与える – ピクチャーエフェクト

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

2 メニューから［エフェクト］→［ピクチャーエフェクト］の順に選択する。

3 希望のモードを選択する。

ソラリ

明暗をはっきりさせたイラストのように

モノトーン

白黒に

セピア

古い写真のような色合いに

ネガアート

写真のネガフィルムのように

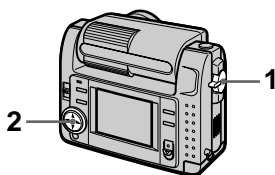
ピクチャーエフェクトを解除するには

手順**3**で［切］を選択します。

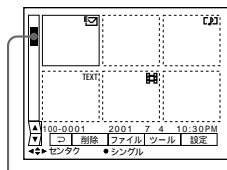
応用操作

いろいろな撮影

6画面表示する

– インデックス画面表示

1 MODEスイッチを「PLAY」にする。

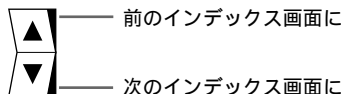
2 画面上の［インデックス］を選択する。

6枚の画像が一度に再生されます（インデックス画面）。
クリップモーションファイルは最初の1コマ目だけが再生されます。

現在表示されている画像が全体の撮影枚数のどの部分にあたるか示す

画像の種類と設定により、次のマークが画像に表示されます。

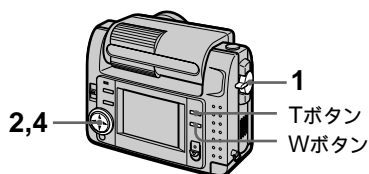
- 🎞：動画ファイル
- ［♪］：ボイスメモファイル
- E✉： Eメールファイル
- 🖨✓：プリントマーク
- ⚷：プロテクトマーク
- TEXT：テキストマーク
- TIFF：TIFFマーク
- CLIP：クリップモーション
- （表示なし）：通常撮影でマークなし

次（前）のインデックス画面を表示するには

画面左下の［▲/▼］を選択します。

1枚表示画面にするには

- コントロールボタンで見たい画像を選択します。
- ［⮌］（戻る）を選択します。

静止画の一部を拡大する

– 再生ズーム／トリミング

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 拡大したい画像を表示する。

3 T**ボタン／**W**ボタンで画像をお好みの大きさにする。**

ズーム倍率表示が出ます。

4 コントロールボタンを繰り返し押して、拡大部分を選択する。

▲：画像が下に移動します。
▼：画像が上に移動します。
◀：画像が右に移動します。
▶：画像が左に移動します。

拡大表示をやめるには

ズーム倍率表示（🔍 ×1.1）が消えるまで、画像を縮小するか、コントロールボタンの●を押します。

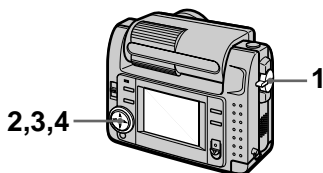
拡大した画像を記録する（トリミング）

再生ズーム後にシャッターボタンを押すと、画像が640×480サイズで記録され、拡大前の画像表示に戻ります。

ご注意

- テキストモードで撮影した画像と非圧縮画像はトリミングできません。
- クリップモーション画像は再生ズーム／トリミングできません。
- ズーム倍率は画像サイズに関係なく、元の画像の5倍までです。
- トリミングした画像は劣化するおそれがあります。
- トリミングしても元の画像は残ります。
- トリミングした画像は最新ファイルとして記録されます。

静止画を回転させる

カメラを縦にして撮影した画像を見るときなどに便利です。

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **回転させたい画像を表示する。**

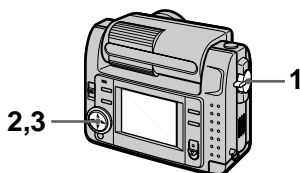
3 **メニューから［ファイル］→［回転］の順に選択する。**

4 **↷または↶で画像を回転させて、［戻る］を選択する。**

ご注意

- テキストモードやクリップモーションで撮影した画像、プロテクトされている画像、非圧縮画像は回転できません。
- 他機で撮影した画像は回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、アプリケーションソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

画像を順番に再生する
– スライドショー

記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［スライドショー］の順に選択する。**

下記の設定をしてください。

間隔設定

1分、30秒、10秒、5秒、3秒

繰り返し

入：［戻る］を選ぶまで、繰り返し再生される。

切：すべての画像が再生されると、スライドショーは終わる。

3 **コントロールボタンで［スタート］を選択する。**

スライドショーが始まります。

スライドショーの設定を中止するには

手順**2**または**3**で［キャンセル］を選択します。

スライドショー再生中の画面の送り／戻しをするには

画面左下の**I◀/▶I**を選択します。

スライドショーを一時停止／再開するには

画面左下の[❚❚]／[▶]を選択します。
また、メニュー画面の消えた状態ではコントロールボタンの●で一時停止／再開ができます。

ご注意

[間隔設定]の設定時間は目安です。再生画像のサイズなどにより、変わることがあります。

テレビで見る

テレビの電源を切ってからA/V接続ケーブルをつなぎ、もう一度電源を入れてください。

1 A/V**接続ケーブルで本機の**A/V OUT**端子とテレビのオーディオ／ビデオ入力端子を接続する。**

テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはA/V接続ケーブルの音声端子をLchに接続してください。

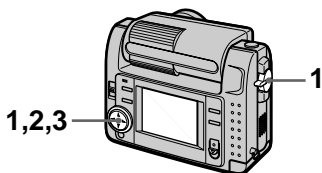
2 **テレビをつけ、本機で画像を再生する。**

テレビ画面に再生画像が映ります。

ご注意

ビデオ端子がないアンテナ入力端子だけのテレビには接続できません。

誤消去防止する
– プロテクト

プロテクト（誤消去防止）した画像には⊶がつきます。

シングル画面表示のとき

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にして、プロテクトをかけたい画像を表示する。**

2 メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［入］の順に選択する。

表示されている画像にプロテクトがかかり、⊶が表示されます。

プロテクト指定を解除するには
手順**2**で［切］を選択します。

インデックス画面表示のとき

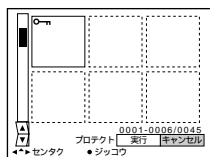
1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にして、インデックス画面表示にする。**

2 メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。

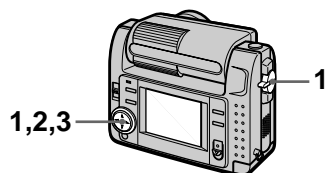
3 ［全画像］を選んだときは

［入］を選択する。
“ メモリースティック ”に記録されているすべての画像がプロテクトされます。

［選択画像］を選んだときは

プロテクトしたい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選んだ画像がプロテクトされます。

プロテクト指定を解除するには
手順**2**で［全画像］を選んだときは［切］を選択します。［選択画像］を選んだときは、プロテクトを解除したい画像をコントロールボタンで選んだあと［実行］を選択します。

画像を消す – 削除

プロテクトされている画像は削除できません。

シングル画面表示のとき

1 **MODEスイッチを「PLAY」にして、削除したい画像を表示する。**

2 **メニューから［削除］→［実行］の順に選択する。**

画像が削除されます。

削除を中止するには

手順**2**で［キャンセル］を選択します。

インデックス画面表示のとき

1 **MODEスイッチを「PLAY」にして、インデックス画面表示にする。**

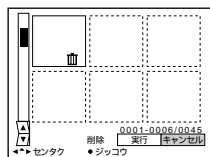
2 **メニューから［削除］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。**

3 **［全画像］を選んだときは**

［実行］を選択する。
プロテクトされていないすべての画像が削除されます。

［選択画像］を選んだときは

削除したい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。

選択した画像には🗑マークが付き削除されます。

削除を中止するには

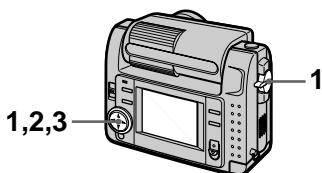
手順**3**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

削除したい画像のファイル名と下4桁が同じファイルが“メモリースティック”内に存在すると、同時に削除されます。

応用操作

画像編集

撮影した静止画のサイズを変える – リサイズ

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にして、サイズを変えたい画像を表示する。**

2 メニューから［ツール］→［リサイズ］の順に選択する。

3 変更したいサイズを選択する。

2240×1680、1856×1392、1280×960、640×480
変更した画像が記録され、リサイズ前の画像表示に戻ります。

リサイズを中止するには

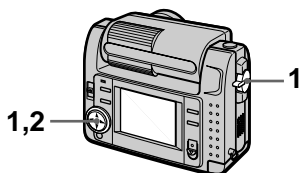
手順**3**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

- テキストモードやクリップモーションで撮影した画像と非圧縮画像はリサイズできません。
- 小さいサイズから大きいサイズにリサイズすると、画像が劣化します。
- リサイズしても元の画像はそのまま残ります。
- リサイズした画像は最新ファイルとして記録されます。

画像をコピーする – コピー

別の“ メモリースティック ”に画像をコピーします。

シングル画面表示のとき

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にして、コピーしたい画像を再生する。**

2 メニューから［ツール］→［コピー］→［実行］の順に選択する。

「アクセス中」と表示されます。

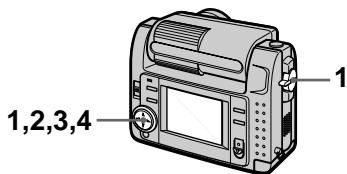
3「メモリースティック交換」と表示されたら、“ メモリースティック ”を取り出す。

「メモリースティック挿入」と表示されます。

4 コピー先の“ メモリースティック ”を入れる。

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは、［終了］を選択します。

さらに別の“メモリースティック”にもコピーするときは
［コピー続行］を選択し、手順**3**と**4**を繰り返してください。

インデックス画面表示のとき

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にして、インデックス画面を表示する。**

2 メニューから［ツール］→［コピー］→［選択画像］の順に選択する。

3 コピーしたい画像を選択する。
✔が画像に表示されます。

4 ［実行］を選択する。
「アクセス中」と表示されます。

5 「メモリースティック交換」と表示されたら、“メモリースティック”を取り出す。
「メモリースティック挿入」と表示されます。

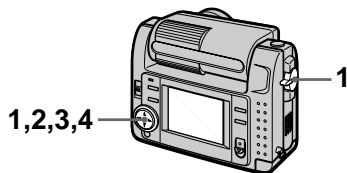
6 別の“メモリースティック”を入れる。
「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは、［終了］を選択します。

さらに別の“メモリースティック”にもコピーするときは
［コピー続行］を選択し、手順**5**と**6**を繰り返してください。

手順の途中で中止するときは
MODEスイッチを切り換えるか、電源を切ります。

ご注意
- 非圧縮画像はコピーできません。
- ファイルサイズが約5MBを超えるものは、コピーできません。コピーしようとすると「コピーできる容量を超えています」と表示されます。インデックス画面表示のときは✔（コピー）表示が点滅します。ファイル数を減らしてからコピーしてください。
- 「書き込み終了」と表示された後、［終了］を選ばずに“メモリースティック”を抜き差しすると画像がコピーされてしまいます。

プリントしたい静止画を選ぶ – プリントマーク

撮影した静止画の中からプリントしたい画像を指定することができます。DPOF(Digital Print Order Format)規格に対応しているお店で画像をプリントするときなどに便利です。

シングル画面表示のとき

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にして、プリントしたい画像を表示する。**

2 メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［入］の順に選択する。

表示されている画像に🖨✓（プリント）マークがつきます。

プリントマークを消すには

手順**2**で［切］を選択する。

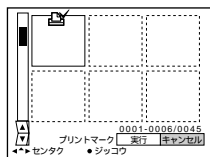
インデックス画面表示のとき

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にして、インデックス表示画面にする。**

2 メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［選択画像］の順に選択する。

3 プリントマークをつけたい画像をコントロールボタンで選択する。

4［実行］を選択する。

🖨✓（プリント）マークが緑色から白色に変わります。

プリントマークを消すには

手順**3**でプリントマークを消したい画像をコントロールボタンで選び、［実行］を選択します。

すべての画像のプリントマークを消すには

メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［全画像］→［切］の順に選択してください。

すべての画像の🖨✓（プリント）マークが消えます。

ご注意

- 動画やテキストモードやクリップモーションで撮影した画像にはプリントマークは付けられません。
- TIFFモードで撮影した画像にプリントマークを付けると、非圧縮画像のみプリントされ、同時に記録されたJPEG画像はプリントされません。

使用上のご注意

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください 。

海岸やほこりの多い場所で使ったあとは

カメラをよく清掃してください。潮風で金属が腐食したり、砂ぼこりが内部に入ったりすると故障の原因になります。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃～40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖い所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

バッテリーについて

- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。
- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして、本機で使い切ってから保管してください。
- バッテリーは湿度の低い、涼しい場所で保管してください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

充電方法

本機をＡＣパワーアダプター／チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切」にして24時間以上放置する。

"メモリースティック"について

"メモリースティック"は、小さく軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。
"メモリースティック"には、一般の"メモリースティック"、著作権保護技術（マジックゲート*）を搭載した"マジックゲート メモリースティック"の2種類があります。
本機では"マジックゲート メモリースティック"と一般の"メモリースティック"のどちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータは著作権の保護の対象にはなりません。

*"マジックゲート"とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

ご注意

- データの読み込み中、書き込み中には"メモリースティック"を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に"メモリースティック"を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気やノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。

"Memory Stick"（"メモリースティック"）、MEMORY STICK ™、"MagicGate Memory Stick"（"マジックゲート メモリースティック"）および MG はソニー株式会社の商標です。
"マジックゲート"および"MAGICGATE"はソニー株式会社の商標です。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。**液晶画面に「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。62ページをご覧ください。**

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーを使う（6ページ）。
	バッテリーが残り少ない（表示が出る）。	バッテリーを充電する（6ページ）。
	ACパワーアダプター／チャージャーがしっかり差し込まれていない。	バッテリー取り付け部とコンセントにしっかり差し込む（9ページ）。
	内部システムの誤動作。	電源を切り、1分後に電源を入れて、正しく動作するか確認する。
撮影ができない。	MODEスイッチが「PLAY」になっている。	「STILL」または「MOVIE」にする（13、17ページ）。
	“メモリースティック”が入っていない。	“メモリースティック”を入れる（12ページ）。
	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチを解除する。
ピントがあっていない。	10 cm〜25 cmで撮影するときに、マクロ撮影モードになっていない。	マクロ撮影モードにする（41ページ）。
リサイズができない。	動画、テキスト画像、クリップモーション画像はリサイズできない。	―
プリントマークが付かない。	動画、テキスト画像、クリップモーション画像にはプリントマークを付けることができない。	―
ノイズが入る。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
画像が暗い。	逆光になっている。	• 画像の明るさを調節する（44ページ）。 • 液晶画面の明るさを調節する（36ページ）。

その他

症状	原因	処置
フラッシュ撮影ができない。	設定がになっている。	AUTOまたは、に設定する（16ページ）。
	プログラムAEの「夜景」「夜景プラス」「風景」モードになっている。	解除する（43ページ）かにする。
	MODEスイッチがMOVIEになっている。	STILLにする。
正しい撮影日時が記録されない。	日付・時刻を合わせていない。	日付・時刻を合わせる（10ページ）。
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミアという現象。	故障ではない。
バッテリーの消耗が早い。	• 温度が極端に低いところで撮影／再生している。 • 充電が不充分。	充分に充電する。
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する（8ページ）。
バッテリーの残量表示が正しくない。	温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。	ー
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する（8ページ）。
	バッテリーが消耗している。	満充電されたバッテリーを取り付ける（6、8ページ）。
バッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	ー	満充電する（6ページ）。
デジタルズームが効かない。	動画撮影中はデジタルズームが使えない。	ー
	プログラムAEがパンフォーカスモードになっている。	解除する（43ページ）。

症状	原因	処置
再生ができない。	MODEスイッチが「STILL」または「MOVIE」になっている。	「PLAY」にする（18、19ページ）。
パソコンで再生すると画像や音が途切れる。	“メモリースティック”から直接再生している。	パソコンのハードディスクにコピーをして、ハードディスクのファイルを再生する（23ページ）。
パソコンで再生できない。	―	パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
画像を消去できない。	プロテクトされている。	プロテクトを解除する（50ページ）。
電源が途中で切れる。	MODEスイッチが「STILL」または「MOVIE」でなにも操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。	電源を入れる。
	バッテリーが消耗している。	充電されたバッテリーを入れる。
テレビに画像が出ない。	本機のビデオ出力信号の設定がPALになっている。	NTSCにする（36ページ）。
ファイルを再生するとファイルエラーになる。	画像サイズが2240×1680より大きい。	2240×1680より小さいサイズにする。
プログラムAEにならない。	テキストモードになっている。	解除する（40ページ）。
液晶画面の画像が一瞬とまる	システム上の都合で故障ではない。	―
画像が白黒になっている。	テキストモードになっている。	解除する（40ページ）。
	ピクチャーエフェクトのモノトーンモードになっている。	解除する（45ページ）。
パソコンとUSB接続ができない。	バッテリーが残り少ない。	ACパワーアダプター／チャージャーを使用してください（9ページ）。
	本機の電源が入っていない。	電源を入れる。
	USBケーブルがしっかり差し込まれていない。	一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「PC MODE」になっていることを確認する（22ページ）。
	パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。	キーボード／マウス以外は取り外してみてください（21ページ）。
	USBドライバがインストールされていない。	USBドライバをインストールする（22ページ）。

症状	原因	処置
パソコンとUSB接続ができない。	付属のCD-ROMから「USBドライバ」をインストールする前に、USBケーブルで本機とパソコンを接続したため、ドライブが正しく認識されていない。	正しく認識されなかったドライブを削除してから、USBドライバをインストールする。詳しくは以下の手順にしたがってください。

Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 ProfessionalとUSB接続ができない場合のUSBドライバの再インストールのしかた

1 **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

2 **付属の専用USBケーブルで、本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

3 **本機に" メモリースティック "を入れる。**

4 **ACアダプター／チャージャーを接続して本機の電源を入れる。**

5 **パソコンの［デバイスマネージャ］開く。**

Windows 98、Windows 98SE、Windows Meをお使いの場合：

① デスクトップ画面の［マイコンピュータ］から［コントロールパネル］を開き、［システム］をダブルクリックする。
② システムプロパティが表示されるので、上部の［デバイスマネージャ］のタブをクリックする。
③［?その他のデバイス］の中の［?Sony DSC］をクリックして右下の［削除（E）］ボタンをクリックする。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合：

AdministratorまたはAdministrator権限のユーザーIDからログインする。

① デスクトップ画面の［マイコンピュータ］から［コントロールパネル］を開き、［システム］をダブルクリックする。
② システムプロパティが表示されるので、上部の［ハードウェア］のタブをクリックして、［デバイスマネージャ（D）］ボタンをクリックする。
③ デバイスマネージャの［表示］をクリックして、［デバイス（種類別）（E）］をクリックする。
④［?その他のデバイス］の中の［?Sony DSC］を右クリックして、［削除（E）］をクリックする。

6 **デバイス削除の確認画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする。**

7 **本機の電源を切ってからUSBケーブルを取りはずし、パソコンを再起動する。**

8 **付属のCD-ROMのUSBドライバを22ページの手順でインストールする。**

手順は飛ばさないで、すべて行ってください。

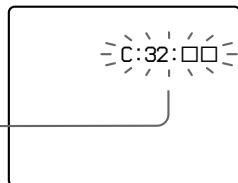
警告表示について

液晶画面には次のような表示が出ます。説明にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味
メモリースティックがありません	“ メモリースティック ”が入っていない。
システムエラー	電源を入れ直す。
メモリースティックエラー	本機では使えない“ メモリースティック ”が入っている。 または、“ メモリースティック ”が壊れている。
フォーマットエラー	“ メモリースティック ”が正しくフォーマットされていない。
メモリースティックがロックされています	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。
メモリースティックの残量がありません	“ メモリースティック ”の容量がいっぱいで記録またはコピーできない。
ファイルがありません	画像が記録されていない。
ファイルエラー	画像再生時の異常。
ファイルがプロテクトされています	画像に誤消去防止がかけられている。
“インフォリチウム”バッテリーを使ってください	“インフォリチウム”対応以外のバッテリーを使っている。
コピーできる容量を超えています	コピーしようとしているファイルサイズが大きすぎて本機ではコピーできない。
ディレクトリエラー	同じディレクトリが存在する。
画像サイズオーバーです	本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。
無効な操作です	本機以外で作成したファイルを再生しようとしている。
	バッテリーの残量がない。残量が少ない。
O‑	画像に誤消去防止がかけられている。

その他

自己診断表示 ー アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。
詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

自己診断表示

- 「C:□□:□□」
  お客さま自身で正常な状態に戻せる内容
- 「E:□□:□□」
  デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターに相談していただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	ハードウェアーの異常。	電源を入れ直す。
C:13:□□	フォーマットしていない"メモリースティック"を入れた。	フォーマットする（33ページ）。
	本機では使えない"メモリースティック"を入れた。 データが壊れている。	"メモリースティック"を交換する（12ページ）。
E:61:□□ E:91:□□	お客さま自身では対応できない異常が起きている。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、サービス番号の5桁のすべてをお知らせください。 例：E:61:10

お客様ご自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

主な仕様

システム

撮像素子
1/1.8型カラーCCD
レンズ
f=6.85 mm（35 mmカメラ換算では37 mm）
F2.8
露出制御
自動
ホワイトバランス
自動、屋内、屋外、ホールド
データ方式
動画　　MPEG1
静止画　JPEG、
GIF（テキストモード、クリップモーション時）、
TIFF
音声付静止画
MPEG1（モノラル）
記憶媒体
“ メモリースティック ”
フラッシュ
推奨撮影距離 0.3 m～2.5 m

入・出力端子

A/V OUT**端子（モノラル）**
ミニジャック
映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
音声：327 mV（47 kΩ負荷時）
出力インピーダンス:
2.2 kΩ
DIGITAL I/O（USB）**端子**
特殊小型ジャック

液晶画面

使用液晶パネル
2型TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリックス）駆動
総ドット数
123 200（560×220）
ドット

電源・その他

使用バッテリー
NP-FS11
電源電圧バッテリー端子入力
3.6 V
消費電力（撮影時）
3.3 W
動作温度
0 ℃～ ＋40 ℃
保存温度
–20 ℃ ～ ＋60 ℃
最大外形寸法
約103×79×48 mm
（幅×高さ×奥行）
本体質量
約300 g（バッテリーNP-FS11、“ メモリースティック ”、レンズキャップなど含む）
内蔵マイクロホン
エレクトレットコンデンサマイクロホン
内蔵スピーカー
ダイナミックスピーカー

AC**パワーアダプター／チャージャー** AC-VF10

電源
AC100－240 V、
50/60 Hz
定格出力
DC OUT: DC 4.2 V、
1.8 A
バッテリー充電:
DC 4.2 V、1.5 A
動作温度
0 ℃ ～ ＋40 ℃
保存温度
–20 ℃ ～ ＋60 ℃
最大外形寸法
49×39×85 mm
（幅×高さ×奥行き）
本体質量
約120 g

バッテリーNP-FS11

使用電池
リチウムイオン蓄電池
最大電圧
DC4.2 V
公称電圧
DC3.6 V
容量
4.1 Wh（1 140 mAh）

付属品

A/V接続ケーブル（1）
バッテリーパックNP-FS11（1）
ACパワーアダプター／チャージャー AC-VF10（1）
接続コードDK-115（1）
電源コード（1）
USBケーブル（1）
レンズキャップ（1）
レンズキャップ用ひも（1）
リストストラップ（1）
“ メモリースティック ”（8MB）（1）
CD-ROM（2）
Picture Paradice Club（体験版）（1）
取扱説明書（1）
取扱説明書（パソコン取り込み編）（1）
安全のために（1）
保証書兼カスタマーご登録はがき（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや“メモリースティック”などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいたうえで回収させていただきますので、ご協力ください。

部品の保有期間について

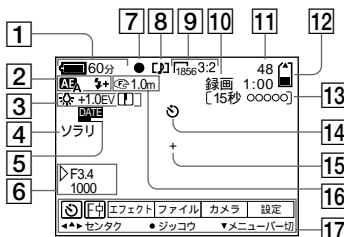
当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

付属のＡＣパワーアダプター／チャージャー AC-VF10 は AC 100 V～240 V・50/60 Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。
ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

画面表示

撮影時

1 **バッテリー残量表示**

2 **プログラム AE表示**

フラッシュモード／フラッシュレベル表示

3 **ホワイトバランス表示**

EV補正表示

シャープネス表示

4 **ピクチャーエフェクト表示**

5 **日付／時刻表示**

6 **アイリス／シャッタースピード表示**

7 **AE/フォーカスロック表示**

8 **撮影モード/クリップモーション表示**

9 **画像サイズ表示**

10 **自己診断表示／記録時間表示**

11 **撮影枚数表示**

12 **“ メモリースティック ”残量表示**

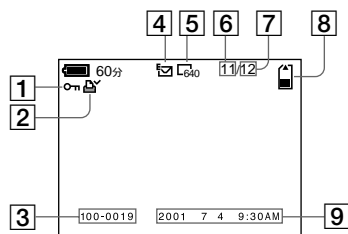
13 **動画／VOICE録画時間表示**

14 **セルフタイマー表示**

15 **スポット測光表示**

16 **マクロ／フォーカスモード表示**

17 **メニューバー／ガイドメニュー**
コントロールボタンの▲を押すと表示されます。▼を押すと消えます。

静止画再生時

1 プロテクト表示

2 プリントマーク表示

3 ファイル名

4 撮影モード/クリップモーション表示

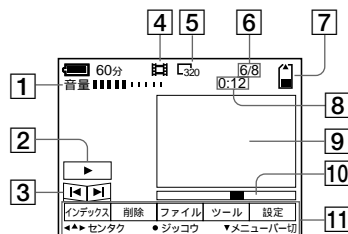
5 画像サイズ表示

6 画像番号

7 “ メモリースティック ”記録枚数

8 “ メモリースティック ”残量表示

9 画像の記録日時表示／メニューバーとガイドメニュー

動画再生時

1 音量表示

2 再生スタート／一時停止ボタン
▶：停止中
❚❚：再生中

3 画像送りボタン

4 撮影モード表示

5 画像サイズ表示

6 画像番号／“ メモリースティック ”記録枚数

7 “ メモリースティック ”残量表示

8 カウンター

9 再生画像

10 再生バー

11 メニューバーとガイドメニュー

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット順

カスタマー登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではデジタルスチルカメラをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■カスタマー登録および登録内容の変更はこちらのホームページから：
http://www.sony.co.jp/di-regi/

カスタマー登録に関する問い合わせは
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話：　**03-3584-6651**
受付時間：月～金曜日　午前10時～午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルスチルカメラとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
電話：　**0564-62-4979**
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

D-Imaging World (デジタルイメージングワールド)
デジタルスチルカメラやハンディカムを楽しく使っていただくためのホームページです。
http://www.sony.co.jp/di-world/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan